

京浜急行本線

(泉岳寺駅～新馬場駅間)

連続立体交差事業について

東 京 都
港 川 区
品 川 区
京浜急行電鉄株式会社

事業のあらまし

京浜急行本線の連続立体交差事業は、泉岳寺駅から新馬場駅までの約1.7 kmの区間について鉄道を高架化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化するものです。

この事業の実施により、補助第149号線などの3か所の踏切が除却され、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上が図られます。さらに、鉄道により分断されていた地域が一体化され、安全で快適なまちづくりが実現されます。

本事業につきまして、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



踏切の状況
(補助第149号線・品川第一踏切道)

工事着手までの流れ

都市計画の流れ

都市計画素案の説明会
(平成29年1月開催)

都市計画案の作成

都市計画案の説明会
(平成29年12月開催)

関係区市町村
の住民及び
利害関係人の
意見書

都市計画審議会
(平成30年11月)

都市計画決定
(平成30年12月)

環境影響評価の流れ

調査計画書の作成
(平成29年1月提出)

都民等の意見書

環境影響評価書案の作成
(平成29年11月提出)

環境影響評価書案の説明会
(平成29年12月開催)

都民等の意見書

評価書案に係る見解書の作成
(平成30年4月提出)

都民の意見を聴く会
(平成30年6月開催)

環境影響評価書の作成

環境影響評価書の提出
(平成30年11月)

用地測量等説明会

都市計画事業認可

用地補償説明会

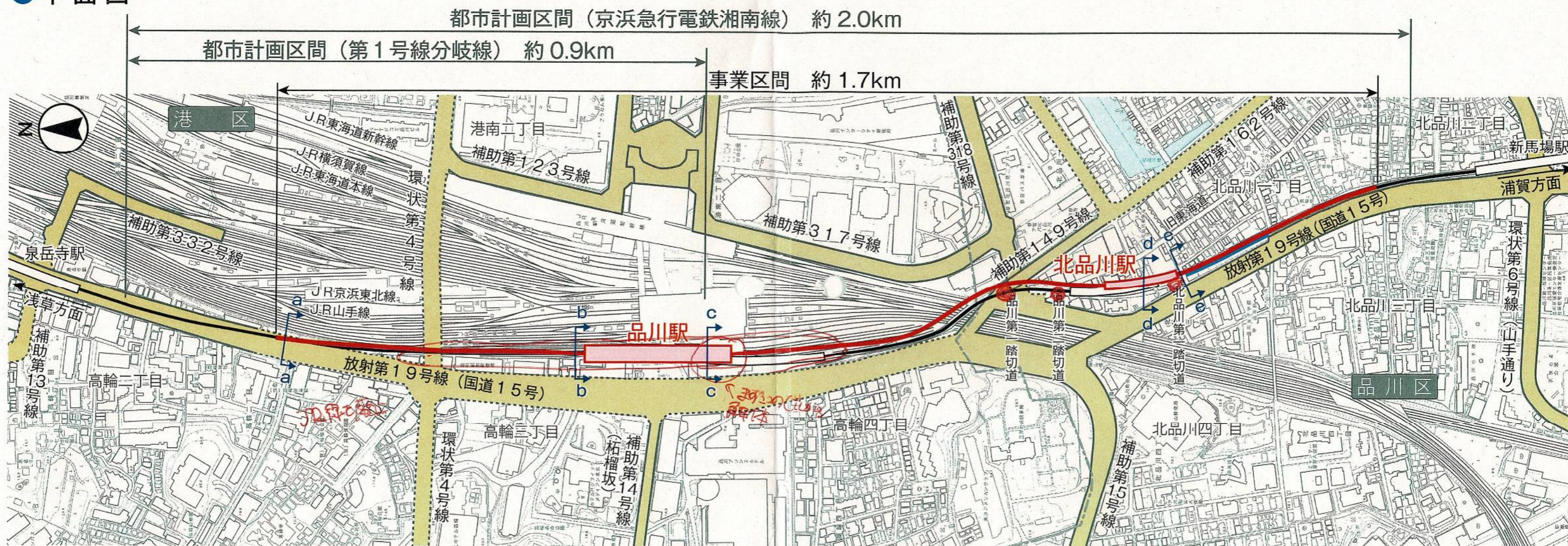
工事説明会

工事着手

同時開催

連続立体交差事業の概要図

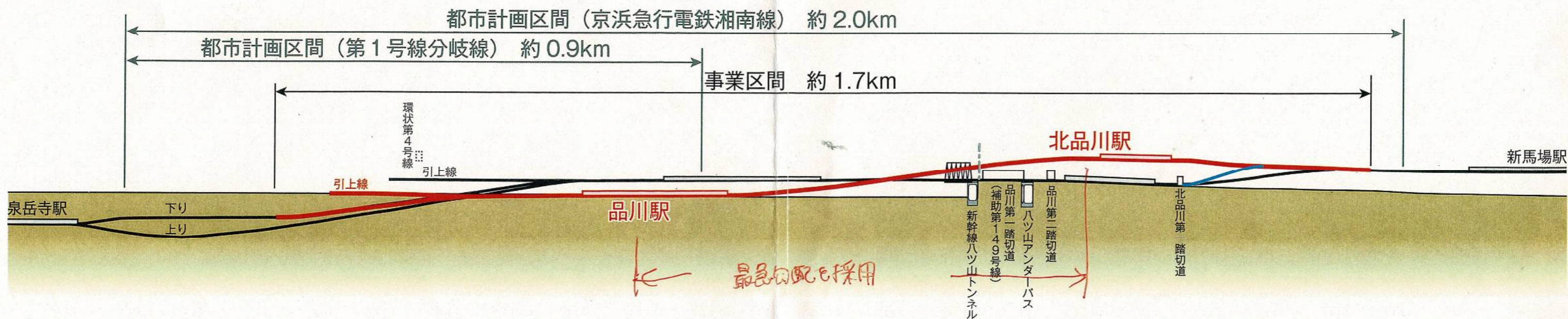
● 平面図



※この地図は、国土地理院長の承認(平成24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第265号)して作成したものです。無断複製を禁じます。この図面は平成24年に実施した航空測量をもとに作成しているため、現在の土地利用が反映されていない場合もあります。

凡例			
	鉄道 (現況)		都市計画道路 (事業中・完了)
	鉄道 (事業区間)		都市計画道路 (計画)
	保守用斜路		区境

● 縦断図

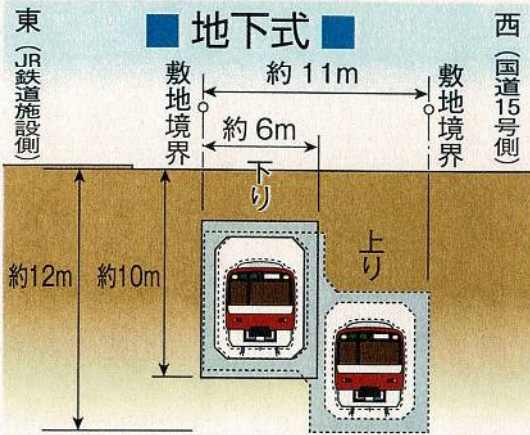


連続立体交差事業の概要図

標準横断面 (泉岳寺側から新馬場方面を見た図です。)

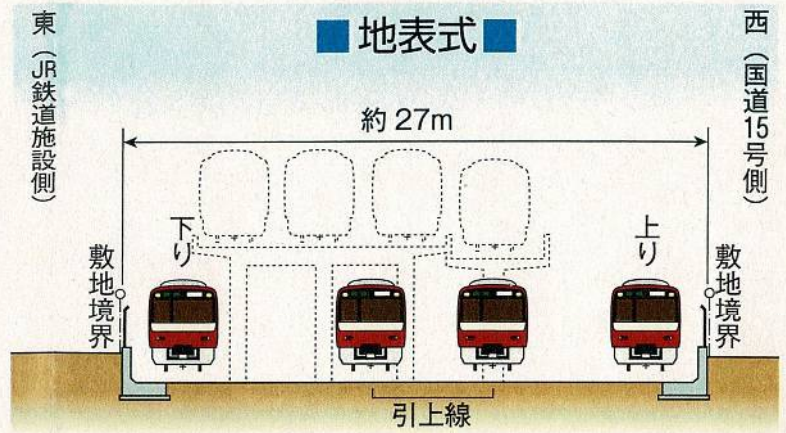
一般部

a-a 断面



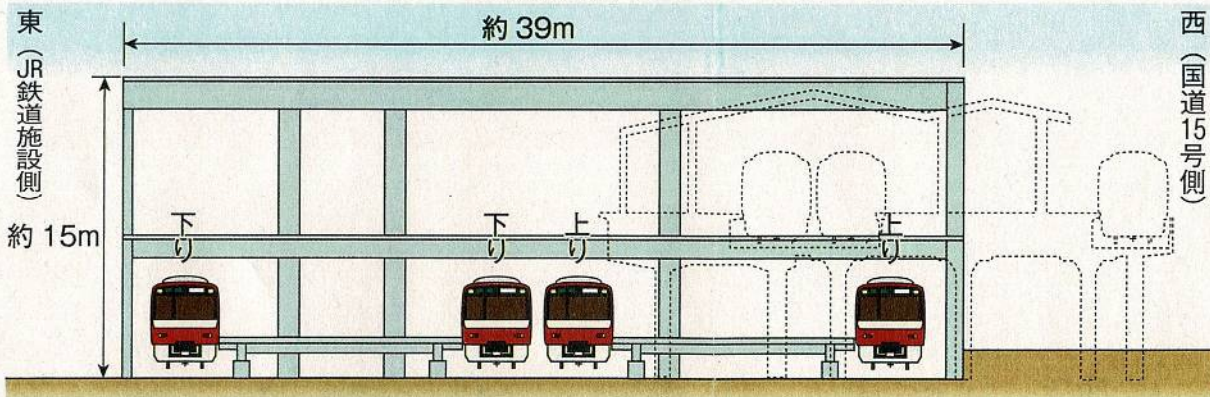
一般部

b-b 断面



品川駅部

c-c 断面

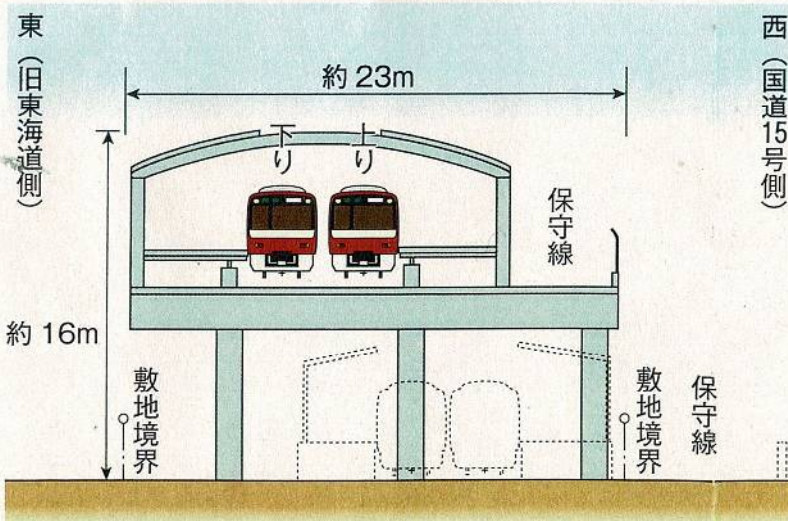


凡例

- : 現況
- : 計画

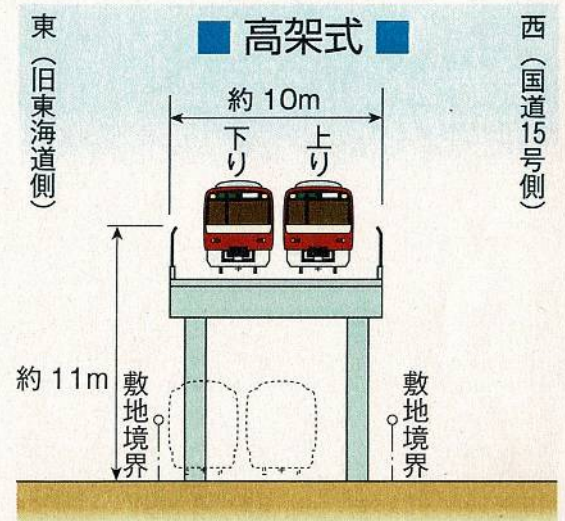
北品川駅部

d-d 断面



一般部

e-e 断面



事業の概要

1 京浜急行本線（泉岳寺駅～新馬場駅間）連続立体交差事業

- ① 区 間 港区高輪二丁目～品川区北品川二丁目
- ② 延 長 約1.7 km
- ③ 構造形式 地下式、地表式、高架式（かさあげ嵩上式）
- ④ 駅 施 設 品川駅 ホーム延長：約221m ホーム幅員：約5m～12m
北品川駅 ホーム延長：約113m ホーム幅員：約2m～5m

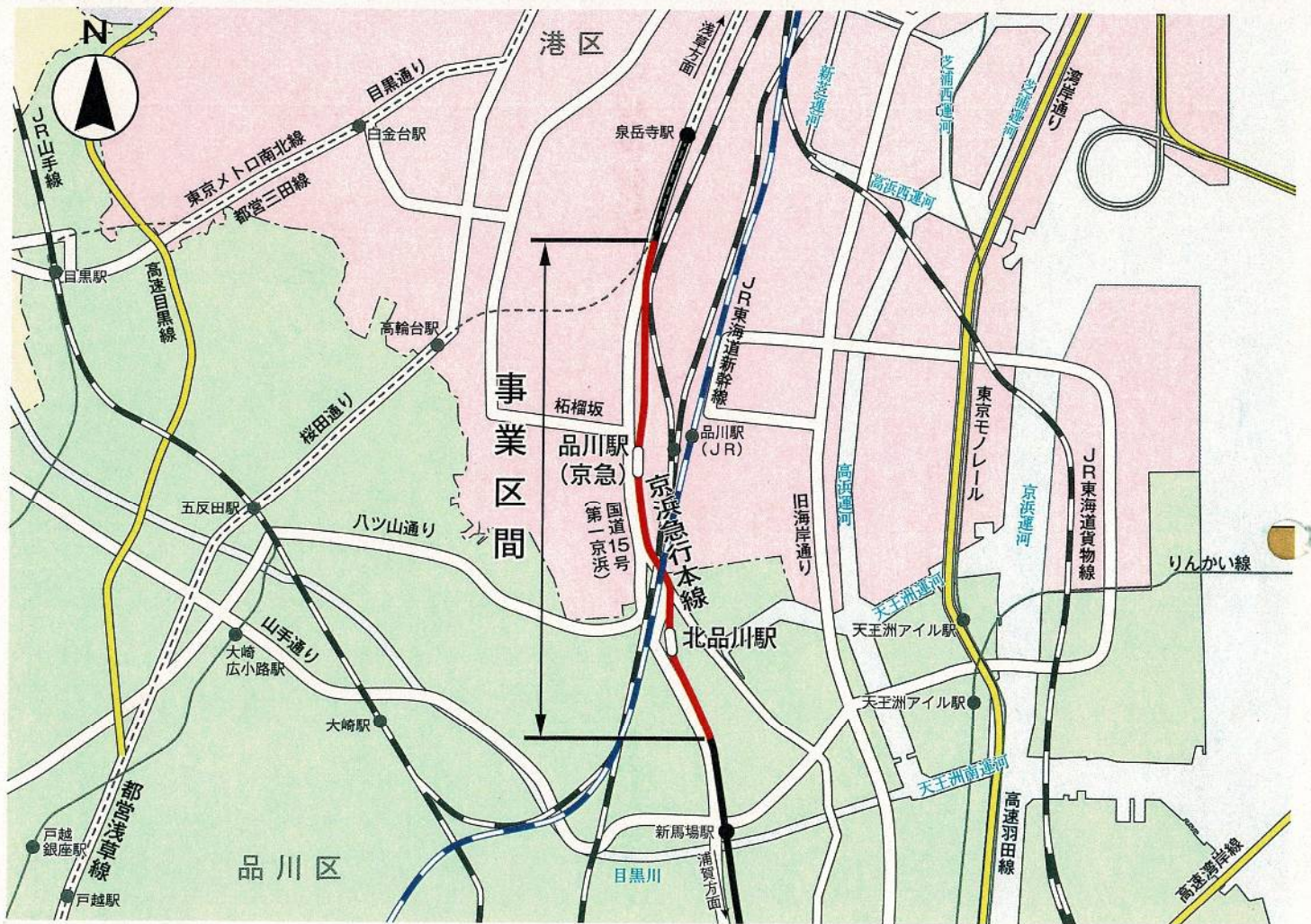
立体化により除却される踏切（3か所）

踏切道の名称	道路名称	踏切道の現況幅員	備 考
品川第一踏切道	特別区道 幹線一級4号	24.4m	補助第149号線
品川第二踏切道	特別区道 準幹線30号	8.0m	(大型車の通行禁止)
北品川第一踏切道	特別区道Ⅲ-1号	7.4m	

交差する都市計画道路（立体化予定区間）

都市計画道路名	計 画 幅 員	現 況 幅 員	備 考
補助第149号線	18.0m	18.0m	
環状第4号線	25.6～28.6m	—	

位置図



● お問合せ先

東京都 建設局 道路建設部 計画課

TEL 03 (5320) 5341

港区 街づくり支援部 開発指導課

TEL 03 (3578) 2907

品川区 都市環境部 都市開発課

TEL 03 (5742) 6961

京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 立体交差部 都心連立課

TEL 03 (3280) 9238

連続立体交差事業は、「東京都が事業主体」となり、「道路の整備」の一環として施行する都市計画事業です。